

令和6年度第2回駒来塾運営委員会 議事要旨

|        |                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 《日 時》  | 令和7年2月21日(金) 午後3時～午後3時40分                                                                                                                                   |
| 《場 所》  | 本庁舎4階 402会議室                                                                                                                                                |
| 《議 事》  | 報告<br>・小牧市学習支援事業「駒来塾」実施要綱の改正について<br>議事<br>（１）アンケート結果について<br>（２）南部地区での新規開講予定について<br>（３）令和7年度の各会場生徒等の数・新規塾生の募集について<br>（４）支援員・サポーターの募集について<br>（５）駒来塾見学会の開催について |
| 《出席者》  | 委 員：野田 幹広、松浦 恵美、山本 幾男、日比野 元紀、<br>光部 明美<br>事務局：川尻こども未来部長、小川こども政策課長、余語福祉総務課副<br>主幹、若林青少年育成係長、上條、舟橋、武田                                                         |
| 《傍聴者》  | なし                                                                                                                                                          |
| 《会議経過》 | 以下のとおり                                                                                                                                                      |

## 1 あいさつ

（川尻部長）

本日はご多忙の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

「駒来塾」につきましては、平成29年度から、こども夢・チャレンジ推進事業の取り組みの一つとして、家庭環境などを理由に、学習塾に通っていない中学生を対象に実施をしてまいりました。

この運営委員会では、円滑に駒来塾の運営を行っていくため、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただき、こどもたちが駒来塾にきて良かったと思えるような事業を実施していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（野田委員長）

皆さん、こんにちは。今日の会は今年度の様子を知っていただいて、次年度に繋げるための会だと思っておりますので、皆さんから来年度に向けたご意見が出るといいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 報告

小牧市学習支援事業「駒来塾」実施要綱の改正について

実施要綱に基づき事務局より説明

（野田委員長）

学習サポーターの要件に高校生を除いた18歳以上のものに變更し、指導方法についての記載も變更したということです。これについては令和6年の11月26日から施行されているということで、ご承知ください。

### 3 議事

#### (1) アンケート結果について

資料1に基づき事務局より説明

(野田委員長)

子どもたちは、駒来塾の取り組みについて肯定的に捉えられているので、実質、成果が上がっているってということだと思います。

親御さんは、どうしても子どもに対する欲目が出て、時間を長く、回数を増やしてほしいという意見も出てくるのかと思います。

ひょっとしたら少し足りないくらいが、もっと自分で勉強をしたくなる場所かもしれないので、今の状況の中で先生方と関係を築きながら学んでいただけたらいいなと思います。来年度も同じ時間、同じ回数で実施する予定なので、引き続き子どもたちの様子を見ながら、そして親御さんの意見を聞きながら進めていただけたらと思います。

私も1月に駒来塾の様子を見させていただきました。行けと言われて来ているがために、意欲がなくて少しぼーっとしている子もいたと思いますが、非常に落ち着いて学習していました。

小牧教室の方では、1、2年生と3年生の教室を分けて実施してみえましたが、どちらも比較的落ち着いて学習をしていました。私のことを知っている子は挨拶してくれたり、話しかけてくれたりして、先生方とも非常にフレンドリーに関係のいい状態だという印象を受けることができました。

(日比野委員)

アンケートの実施の方法について教えてください。

(事務局)

保護者にも回答をお願いしているので、塾で紙のアンケートを配り、返信用封筒で回答を送っていただきます。

(日比野委員)

アンケートを書いた本人しかその内容はわからない状況で実施されているということですね。私たちもアンケートをよく取りますが、机の上に置いておいて、帰るまでに出しておいてね、というやり方だと周りの目が気になったり、これを書いたら何かその先生方にマイナスになったりするのではないかとことを忖度する子が結構いるので、生の声というのは、なかなか聞きづらいのではないかなと思います。

その上で、回答として、普通という言葉が結構ありますが、中高生の言う普通っていいことだと思います。

勉強できるということは幸せなことで、その当たり前のことができているということですが、普通という表現なのかなと思います。普通だから、あまりその成果が出ていないということではなく、普通に思ってくれているという風に捉えてもいいのかなと思うので、楽しいという意見は貴重だなと思いながら読ませていただきました。

#### (2) 南部地区での新規開講予定について

資料2に基づき事務局より説明

(野田委員長)

運営体制については、今のところどうなる予定でしょうか。

(事務局)

最初は他の会場と兼任ということで先生方にお願いしておりましたが、新規で支援員に登録してくださる先生が数名みえたので、兼任をお願いせずに運営できる予定です。

(3) 令和7年度の各会場生徒等の数・新規塾生の募集について

(4) 支援員・サポーターの募集について

資料3～5に基づき事務局より説明

(野田委員長)

これはいつ学校に発出される予定ですか。

(事務局)

例年、4月の校長会・教頭会でご説明し、教頭会が終わり次第配布しております。

(野田委員長)

新たに随時募集という形に変更していただきありがとうございます。資料5の学習支援サポーターの随時募集については、いつ、こういった形でお示しをされるんでしょうか。

(事務局)

学習支援員、サポーターについては、今も募集を行っておりますが、新しい案内については新年度に入ってからになる予定です。

(野田委員長)

サポーターは現状1,100円としていますが、4月からは1,200円になるので、学生は100円変わると嬉しいかもしれないですね。

(5) 駒来塾見学会の開催について

資料6に基づき事務局より説明

(意見等なし)

#### 4 その他

次回の委員会は7月頃実施予定。